



古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター審査会を開催

～どの作品も力作ばかり～

8月20日(土)古牧公民館において第41回古牧地区防火・防犯・交通安全ポスター審査会が行われました。

昨年(第40回)に引き続きコロナ感染拡大防止対策の中での開催となりましたが、古牧12地区の小中学生あわせて392点の応募があり、この中から優秀な作品18点が選ばれました。

昨年はコロナ禍の中で初開催となり、戸惑いの中での審査会でしたが、今年度は作品の展示方法や投票用紙などを工夫し、同じカテゴリーの作品をまとめて展示し審査しやすくしました。展示スペースにも余裕ができスムーズな審査、投票を行うことができ、審査される皆さんも時間をずらし来ていただき密にもならず、無事に審査会を終了することができました。

出品いただいた作品はどれもす

ばらしく、子供たちの真剣さが強く伝わるものでした。

ポスター事業にご協力いただいた各地区の小中学校関係者並びに保護者の皆様、また、消防団第六分団の皆様にお礼申し上げます。

ありがとうございました。(防犯部)

ポスターは3・4面に掲載



地域活性化と男女共同参画

7月27日(水)古牧公民館において新型コロナウイルス感染症の第7波の中、密を避け十分に換気



を取り入れ、来賓者・区長・各区公民館長・部員全員が出席し開催されました。

今年度は長野県カルチャーセンター三島利徳氏を講師に「地域活性化と男女共同参画」をテーマに①男女共同参画の歩み(女性の企画段階からの参加・活動)、②人や地域を脅かす災害・疾病(災害発生時の女性視点)、③生活の困難さと苦勞(弱者を勞る心がけ)、④老若男女が力を合わせて地域活性化(各分野に女性30%参画)について各種の国などの公的資料等を使い学びました。(人権・男女参画部)

自主防災会が防災訓練を実施 ～災害に備えて～

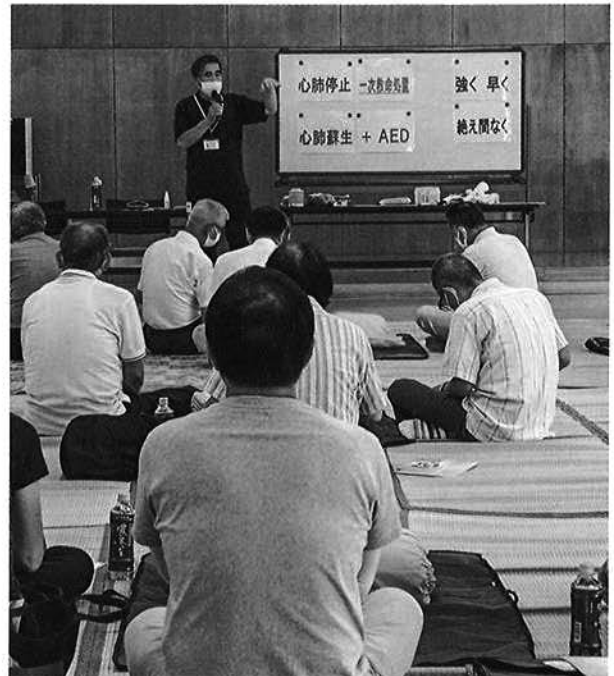
8月6日(土)古牧公民館で古牧地区12区の自主防災連絡会の役員、区長、副区長、防災指導員が参加して防災訓練が実施されました。

8時30分長野市で震度6強の地震が発生した想定で8時45分古牧公民館に古牧対策本部を設置、8時48分には各区の対策本部が設置されました。その後、無線機を使用して古牧対策本部から各12区へ対策本部設置場所の確認を送受信して対策本部設置、無線交信訓練を終了しました。

10時から各区の区長、防災指導員が古牧公民館へ参集し救急措置対応訓練が行われました。

講師には日本赤十字社長野県支部赤十字救急法講習指導員太田秋夫氏、栗林久恵氏をお迎えして心肺蘇生とAEDを用いた除細動の訓練を行いました。

心肺蘇生とは傷病者に意識がなく呼吸がな



い場合に心停止と判断し、直ちに胸骨圧迫を行い気道を確保し人工呼吸をすることです。

訓練では人形を使い、まず意識があるか声掛けして、心肺停止の確認後に胸骨圧迫を実施しました。その後にまわりの協力者に、119番通報をお願いする手順を確認しました。

AEDを用いた除細動は、心停止から5分以内に電気ショックを行うことが大切です。

AEDの電源をいれると音声で手順の説明がありますので落ち着いて音声に従い、周りの皆さんと協力することが大切です。

参加者は、講師の指導を受け心肺蘇生の救急措置に一生懸命に取り組んでいました。

(総務部自主防災連絡会)

古牧地区ふるさと文化芸能祭のお知らせ

11月3日(木)文化の日に開催されます「ふるさと文化芸能祭」について、現時点では実施の方向で準備を進めています。開催に際して、会場の設営、搬入・搬出、当日の開催方法等については三密を避けて、コロナ感染防止対策を徹底します。

詳細につきましては10月中旬にプログラムを配布させていただきますが、コロナ感染の状況によっては規模の縮小や中止となる場合があります。

なお、開催についての判断は10月中旬までには行う予定です。(公民館部)

「風鈴」に願いをこめて

上高田公民館では、夏の納涼祭を「今年こそ」と計画し、準備を進めて来ましたが、コロナ第7波の猛威の前に、その望みはもろくも砕け散りました。

3年続きで納涼祭が中止となりましたが、その状況下でも何かできないか、と想いを巡らせていたところ「多くの風鈴で区民に“涼”を感じてもらおう」という考えに至りました。



8月11日、本来ならば納涼祭を開催する予定であった芋井神社に、公民館役員と育成会役員が集まり、竹の棚を組み立てて150個の風鈴を飾り付けました。全く初めての試みでしたが予想を超える出来映えとなりました。

飾り付けられた風鈴は、神社を渡る風で「チリンチリン」と心地よい音を奏で、8月20日までの10日間、上高田区民にほっとするひと時を届けてくれました。

なお、風鈴は20日までの飾りつけでしたが、長野ケーブルテレビで取材があり、携帯電話などでQRコードにアクセスしていただくと飾り付けの様子などを見ることができます。
(上高田公民館)



(QRコード)

歴史探索

ぐるりわがまち

平林区

平林におられる学問の神様と仏様

古牧郷土史研究会 玉木 栄一郎

「合格祈願」といえば、「川端の天満宮」や「五分一^の天満宮」を思い浮かべる人がおられるかと思う。「天満宮」は学問の神様菅原道真公を祀る。「平林天満宮」は安達神社境内東北に鎮座される。建立年は不詳だが、近くに並ぶ^{ほろ}瘡神・金毘羅社・稻荷社・屋敷神などと同様に元は個人の寄進であることがわかっている。神社では、元旦祭参拝者の希望者には「平林天満宮」のお守りを授けている。

ところで、「三人寄れば文殊の知恵」という言葉があるように文殊菩薩(もんじゅぼさつ)も知恵、学業向上、合格祈願で有名な仏様である。

当区の寺院宝樹院の門を入れてすぐ左側、

観音堂の北側に、獅子に乗り、右手に剣(知恵を象徴する宝剣)、左手に経巻を持った石造りの文殊菩薩がおられる。石像保護のため屋根が作られているがこれだけ大きい文殊菩薩像(台座を含めて約3m)は珍しい。これは観音堂におられた庵主様がお経を覚えるのに苦労していたということで檀信徒や村の皆様にお願ひし建立したといわれている。この像を平成26年移転した際、喜捨された皆様の名前を記したと思われる丸い小石が多数、石像の台座部分より見つかった。庵主様は宗派を問わず請われるままにそのお宅の法要に参られたとのことである。

6面につづく

文殊菩薩



平林天満宮



娑婆鉛筆

笑い文字との出会い

私と笑い文字との出会いは、昨年末の古牧地区子育て支援部研修会です。

スマホやSNSが主流になりつつある時代ですが、黒と朱の筆を使って一番伝えたい方を思いながら、「ありがとう」の笑い文字をハガキに書きます。「書いて半分 渡して完成」の笑い文字。出来上がったハガキを友人に渡したら、満面の笑みにこちらもホッコリしたものです。

まあい笑顔に向き合っているとその時の自分の心が映し出されて癒されます。また、伝える事でうれしさや楽しさを体験する事が出来まし



た。人の脳はミラーニューロン効果で「笑顔」に反応するそうです。「ありがとうは、有難い。あることがミラクル、奇跡」と言われます。私も笑い文字で感謝を伝えられたらと思い、今年の3月から、オンラインで中級、上級、スキルアップカナ文字、漢字講座を進み、初級講師養成講座を3回、デモ講座を8月16日に修了し、8月17日に初級講師の資格を取る事が出来ました。

あなたは、今日ありがとうを伝えましたか？

私もこれからたくさんの笑顔のありがとうを書いて渡して伝えて行けたらと思っています。 (磯貝 洋子)

10月から11月までの主な行事実施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和4年8月1日現在

11,784世帯

(男 13,108人

26,532人

女 13,424人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 塩入 茂
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 SR



HP
ご覧ください